



皇太子殿下、ようこそ阿蘇市へ!第31回全国育樹祭

▼式典で皇太子殿下のお出迎えを担当したのは、阿蘇市の子どもたち。殿下が、それぞれにお声を掛けられました。



第31回全国育樹祭が11月4日、阿蘇みんなの森で、熊本県と国土緑化推進機構主催で開催され、大会会長の江田参議院議長や若林農林水産大臣はじめ約5千人が参加しました。



▲式典で皇太子殿下は「豊かな緑が守り育てられ、引き継がれていくことを願います」と述べられました。下の写真中央が御席。



▲県内の林業後継者を代表して、車帰の岩村雄太さん(中央)が「誓いの言葉」を述べました。

昭和60年の第36回全国植樹祭で昭和天皇がお手植えされた杉を、皇太子殿下がお手入れされたほか、県内の緑化等功労者表彰や大会テーマ「この地球の未来を潤すみどりの力」に合わせて、アトラクションなどが行われました。



▼阿蘇中学校1・2年生がアトラクションに出演。水の精を演じました。



▲一般席。全国から多くの参加がありました。テント下は音楽隊



▲中通、碧水、尾ヶ石東部、波野小学校の「緑の少年団」が堂々と行進



▲阿蘇市内の中学・高校吹奏楽部、阿蘇少年少女合唱団が音楽隊で活躍



▲一般参加者の入場。阿蘇市からもたくさんの方々が参加されました。



◀式典終了後、殿下は火口を見学され、阿蘇山測候所の松島所長から説明を受けられました。



◀奉迎のようす。3日阿蘇プリンスホテルでのご宿泊から、4日式典会場までのご通過の際、沿道でたくさんの市民の方々が皇太子殿下の本市入りを歓迎しました。写真は坊中地区。

